

Kigali 取水口濁度調査 : IMP プログラム (ルワンダ)

日程 : 2014 年 4 月 20 日 ~ 4 月 25 日

鈴木, Dominique MUREKEZI (M2)

IMP プログラム修士 2 年の Dominique 君 (EWSA の職員 : Energy Water Sanitation Agency) の母国であるルワンダにおいて, 上記の日程で Kigali における取水, および浄水場入り口における濁度調査等を実施した。



(20 日) 今回の出張はカタール航空でドーハ経由となりました。



(21 日) Kigali 上空です。ここまで 24 時間以上かかりました。



Kigali の町。気候は穏やかで過ごしやすいです。



ダウンタウンにて, Dominique 君とルワンダコーヒーで乾杯。



Hotel chez lando. 蚊帳がついていました。



(22 日) Kigali は横浜以上のアップダウンの多い街です。



取水施設の設計図から断面形状等を把握する。



EWSA の実験室。ここで濁度、TSS を計測する。



Head of operation and management の NTAGWA Deo 氏 (中央) と挨拶。



Kimisagara Water Treatment Plant の視察



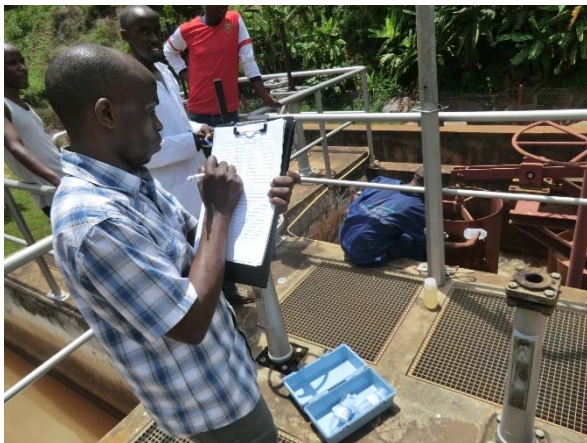
Yanze River の取水施設。水はかなり濁っています。



Yanze River にある 1 次処理施設. 泥質分を沈殿させるものであるが, それほどの効果はなさそうです.



Dominique 君とインターンで来ている Jean 君と共に昼食.



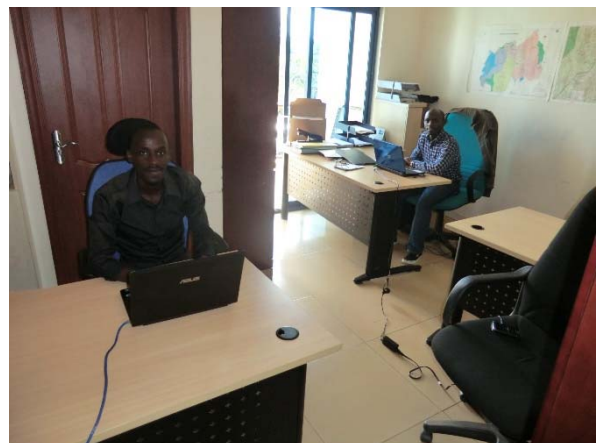
濁度と TSS を測定するためサンプリングを実施.



実験室に戻り, 濁度, TSS の測定.



Dominique 君と 1 枚.



(23 日) Domoinique 君のオフィス. 勤務時間は 7 時から 5 時とのこと. ここで 1 時間ほど打合せを行いました.



Director of Water and Sewerage Utility Division の MINANI Theoneste 氏と挨拶。中央の写真は大統領。



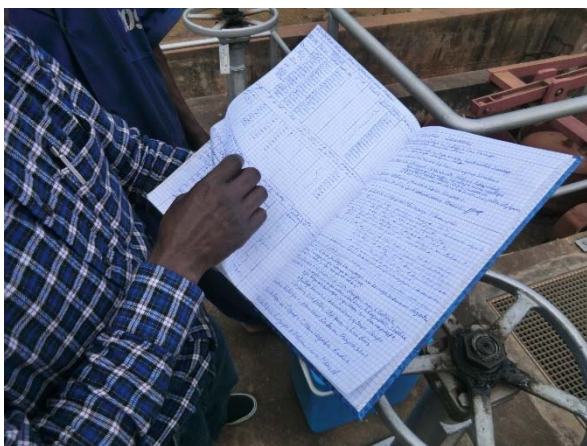
取水施設から浄水場へ向うパイプ。



取水施設では透明度を計測していました。これが 0.5cm で筒底の×が見えないときには浄水場への送水をとめているとのこと。



(24日) 他の浄水場についても視察を行い、説明をして頂きました。



透明度のデータ。すべてノートに記録されました。



川にワニがいました。大きそうです。



岡の上にある給水場を見学しました。



Energy Water Sanitation Agency の HQ.



キガリの空港にて。これで帰国となりました。